

悪魔が語るバラード

マーラーの交響曲第6番に寄す

勝利の冠は目前だ
戦いに次ぐ戦いを通り抜けた男は上り続ける
この最後の坂を上りきれば頂上だ
彼は疲れ切っていた　　さもあろう
しかし勝利の冠は目前だ
喘ぎながらも輝きが彼を引っぱった
ところが彼の耳に聞こえだしたのは
嘲るようなおどけた嫌らしい音楽
早く、さあ早く、とその音はささやいた

その時、焦り始めた彼の背後に影が忍び寄る
そしてハンマーは振り下ろされた
彼の頭蓋骨に鈍い音を立てて・・・
それでも男は立ち上がった
髪からだらだらと血を流しながら
なおも勝利の冠目指して突き進む
しかしもう一度影は背後に忍び寄る
そして再びハンマーは振り下ろされた
今度は音もしなかった・・・
それでも男は己の身体を引きずった
血塗れの化物じみた顔を上げて
なおも頂上目指して這ってゆく

もう一度影は背後に忍び寄る
そして三度目のハンマーが振り下ろされた
男の脳髄の中にハンマーは沈んだ・・・

男の手は震えながら伸ばされ
遂に冠にかかり、そして力を失った

そこには彫られてあった
「御前が求めた勝利は、則ち死である」と
そして鈍い叫びが山々にこだました

(1982.12.13)